



旅行好きのソムリエが、世界のあっちこちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私があなただの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

Philippines

フィリピン滞在中の大森です。前回は語学留学についての情報をお伝えしましたが、今回はマニラ首都圏の生活についてお話ししたいと思います。

日本とフィリピン共和国の時差は1時間。大阪⇄マニラ間のフライトタイムは4時間と短く、飛行機に乗ってしまえばあっという間に到着します。地理的な近さもあって韓国人も多く見かけるフィリピン。何はさておき、空港に到着して一言目に発する言葉は誰もが同じ。暑い……

フィリピンは高温多湿の熱帯性気候に属しているため、年平均気温は26〜27℃。3月から5月までの酷暑期、6月から11月までの雨季、12月から翌年2月までの乾期と一応季節が分けられてはいるものの、基本的に年間を通して気温にそれほど大きな差はなく、常に温暖、だいたい暑い。特に今(5月)は暑さがピークに達する時期のため、日中の気温が35℃を超えることも珍しくなく、外



にいと短時間で汗だくになってしまいます。フィリピンの人もあまり外を歩きたがらず、単距離であってもジブニーと呼ばれる乗合いバスやサイドカー付きの自転車、タクシーやバイクなどを使って移動するのが基本のようです。

現地では庶民の足と呼ばれるジブニー、一見得体的のしれない小型バスですが、慣れるとこれほど便利な乗り物はありません。とにかく運賃が安い。フィリピンのタクシー料金はとても安いので観光ではタクシーを利用する人がほとんどですが、それと比べても格段に安い。

マニラでのタクシー初乗り料金は40ペソ(90円ぐらい)で、渋滞や時間帯にもよりますが、15分ほどの乗車で80ペソ(約180円)、30分で150ペソ(約330円)、60分で300ペソ(約670円)位と文句なしに安いのですが、ジブニーを使えばさらに安く、一区間たった8ペソ(約18円)で移動ができます。素晴らしい。難点と言えば、走行ルートが分かっているなければ乗りにく

い(現地の人に聞けば何とかかなります)、エアコン設備がないため渋滞で停まってしまうと暑く狭い車内が地獄と化す(窓がないので走行中は自然の風を感じられます)、乗車率が100%を越えていることが多く基本的に車内では隣の人と体が密着した状態になる(ピッタピタにくっついてても現地の人はあまり気にしていないようです)、強盗や盗難などの被害に合う危険性がゼロではない(iPhoneの価格はフィリピンの平均世帯年収の25%を上回るため大変狙われやすいアイテムです)、第一にドライバーの運転が荒い(車検という言葉の意味を説明した後になされた言葉は「:で、それは何のためにあるの?」など色々あるので取ってお勧めはしません)、24時間走行していてどこからでも乗り降り自由、とにかく安く移動できるので、ジブニーを乗りこなせれば移動が格段に楽になるのは事実です。公用語はタガログ語ですが共通語として大抵のフィリピン人は基本的な英会話能力を持っていますので、ドライバーとのやり取りも英語で問題ありません。降りたい場所をアピール

しておけば誰かが教えてくれます。それから海外滞在中に気になることといえばやはり食事。

タイ料理やインドネシア料理など他の東南アジア料理に比べて日本人にはなじみの薄いフィリピン料理ですが、おかずとしてご飯と和えながら食べる料理が多いため意外と日本人の舌にも合うのかもしれない。いや、どうか...味付けは日本人の味覚からするとかなり濃いめです。たくさん汗をかくせいか、塩辛い、もしくは甘しょっぱい系の食べ物が多く、フライドチキンや野菜炒めなど、薄味で満足できそうな料理にも一気に血圧が上昇しそうな甘辛い濃厚なソースをたっぷりかけるのが美味しさの秘訣。料理のバリエーションは多彩ですが、調理方法は煮るか揚げるかの二択です。暑い国ですので、生もしくはそれに近い形の料理はほとんどありません。また蒸し暑い国にしては珍しくスパイス系の辛さが好まれないようで、スパイシーな食べ物もあまり見かけません。甘くて濃くはつきりした味が好まれ、

⑤ あまりに暑いので男性はシャツの裾を上げてお腹を出して歩くんですよ...
⑥ フィリピンの三輪タクシー、トライシクル
⑦ ジブニーは元々第二次世界大戦後にフィリピン駐留アメリカ軍払い下げのジープを改造したのが始まりとされており、Jeepと北米で乗り合いタクシーを意味するJitneyとの合成語としてJeepneyと呼ばれるようになりました。
⑧ 運賃はドライバーに手渡します
⑨・⑩ 彼がJollibee!



スプーンとフォークを使っておかずを米と混ぜ合わせながら食べます。食事Ⅱ米を食べることに捉えるのは日本と同じ感覚で、とにかくこの国での食事は米がないことには始まりません。フィリピン人は一日の三食ほぼ必ずお米を食べますし、マクドナルドやケンタッキーフライドチキンにもライスがセットで付いてきます。そこにハンバーガーの面影はありません。お米は日本人のソウルフード…と言いたいところですが、ざっと1人あたりの米消費量を見ると、日本人が年間約70kgに対してフィリピン人は約145kgと、実に日本の2倍以上もの米を消費している恐るべき国民なのです。そんなお米大好き帝国で最も人気のあるファストフードチェーン店といえば、赤い蜂のキャラクターが目印のジョリビー。聞いたことないですよ（失礼）。ですがフィリピンで最も成功しているファストフード店といえば、マクドナルドでもサブウェイでもなくジョリビーなのです。ジョリビーにはハンバーガーのメニューもありますが頼む人は少なく、人気があるのはフライドチキンとライス

のセット、もしくはバナナケチャップを使ったちよつと甘いスパゲッティ。この2つはフィリピン人みんなが大好きだと答える味ですので、フィリピーノの味覚を知りたければジョリビーを覗くのが手っ取り早い方法かもしれません。

次回もフィリピンで人気のある食べ物について、もう少しお話できたらなど思っています。



11 マクドナルドのメニュー。わかりますか？全てライスとのセットになっているのが！

12～15 ジョリビーの人気メニュー。チキンにはグレービーソースが付きます。

16・17 スーパーで買える豊富な種類のお米